

# 留学生の支援による八王子市の課題解決 —大学コミュニティによる多文化共生に向けた取り組み—

## Resolving the problem of Hachioji by supporting foreign residents —Connect foreign residents and University's communities—

中山ゼミ Team シナブロ  
内田雅之 熊倉貴之 倉重はるか イチェウォン 渡邊香峰 廣瀬幸輝  
指導教員 中山雅司教授  
創価大学 法学部 法学科 中山ゼミナール

キーワード:八王子,異文化共生,地域コミュニティ,学生主体,外国人支援

### 1. はじめに

年々、グローバル化に伴い八王子市に住む外国人人口は増加している。その中で、1人では生活することが困難だと感じている外国人が多数いる。適切な支援をしていくために、八王子市の『学園都市』という強みを活かしていきたい。外国人支援の第一歩として、SDGsの「だれ一人取り残さない」という理念を実現する、「大学生による留学生を支援するためのインターラッジ」を提案する。

### 2. 現状分析

#### (1) 八王子市の外国人

八王子市の調査(2022)によると、令和4年現在、八王子市に住む外国人の数は13,734人であり、その数は年々増加している。一方、令和4年に八王子市が在留外国人に行った生活調査(n=200)では、生活についての相談相手として選ばれるのが家族や日本人以外の友人という答えが大半であった。また、防災訓練や八王子の行事への参加率が低いことも明らかになった。さらに大学内で留学生(n=15)を対象に自主調査を行ったところ、コミュニティに所属しているのは留学生グループに所属する1人のみで、他はコミュニティに所属していないことが分かった。そのため、日本に住んでいて大変だと思うことを問う項目では手続きに関して困っている学生が多数い

た。これらの結果から八王子市の外国人コミュニティ支援がまだ不十分であるとの結論に至った。

#### (2) 学生の意識

日本学生支援機構が提示した調査(2020)では、2017年以降日本は常に10万人以上留学生を輩出しており、近年の学生の高い国際意識が窺える。また全研本社株式会社(2021)の調査(n=111)によると、留学を希望する大学生の6割以上がコロナ禍においても留学に行きたいと回答しており、学生時代しかチャンスがないとの理由が顕著であった。しかし実際に留学に行ける目処が立っている大学生は30.9%であり、理由として大学側や家族からの許可が得られないとの回答が多数であった。さらに金銭的負担も影響を与えていることが判明した。以上のことから多くの学生が海外留学に意欲的でありながらも、実際には行動に移せずにいることが明らかとなった。

#### (3) 八王子と国際交流

現在八王子では多文化共生推進プランの目標として外国人市民のネットワークの活性化、社会参加の支援、町会などへの加入促進を挙げている。また八王子国際協会や八王子国際友好クラブといった国際交流を行うためのコミュニティも複数活動している。一方、市や八王子国際協会が開催するイベントへの参加者数は平成2011

年の 7,496 人から 2020 年には 4,302 人に減少しており、国際交流への参加者数の増加が八王子市の課題といえる。

### 3. 提案

以上の八王子市の特色を生かし、外国人コミュニティ形成に対して、私たちは「大学生による留学生を支援するためのインターラッジの設置」を提案する。内容として①留学生支援や国際交流に関心のある学生を集めたサークル組織の設置、②八王子市における留学生支援の方法のレクチャー、③八王子市と連携し、外国人の多く集まる日本語学校などで支援や交流を行う、である。①について、八王子市にある 21 大学から国際交流に興味のある学生でインターラッジサークルを設置する。②について、サークル内で八王子市の留学生支援の方法のレクチャーを行い、どのように接していくか、および具体的な支援策について提案、実行する。例として、留学生への日本語サポートや市役所などを介した複雑な手続きに関する支援などを行う。③について、留学生への支援が拡大させた後、八王子市に点在する国際交流コミュニティと提携し、外国人と国際交流などを行うことができる大型コミュニティ支援を提案する。また、そのコミュニティを中心に八王子に住む日本人と外国人の両者が参加しやすい大型規模のイベントの開催および運営を行う。この際、八王子市側に開催のサポートを依頼する。

### 4. 提案によるメリット

#### (1) 大学生のメリット

初めに、この提案は学生の異文化への興味関心から異文化理解の促進になる。またこのインカレを八王子市内で行うことで、コロナにより留学に行けなくなってしまった学生や経済的に留学にいけない学生に国際交流の機会を設けることができる。さらに、インカレに参加した大学生が留学生と交流することで語学力の向上に繋げることができる。

#### (2) 外国人のメリット

日本人大学生との交流をすることで、人脈が広がるため地域の情報を得やすくなる。また、八王子市内には 21 の大学が存在するため、広範囲にわたる地域をカバーでき、外国人にとっての情報格差などを解消できる。さらに、インカレの支援及びインカレコミュニティに参加することで精神的な孤立を緩和、解消することができる。

#### (3) 八王子市のメリット

学生都市という特色を生かし、学生と外国人の交流による地域の活性化を目指す。また、学生、街、外国人の組み合わせによる、ほかの都市にないチャレンジとして新たな都市構想のモデルになることができる。さらに、インカレの設置により外国人コミュニティの受け手口が増えること、大学生のインカレ参加による国際交流参加者の増加により、八王子市が掲げる「みんなにとっても住みやすいまち」の実現および課題解決につなげることができる。

### 参考文献

多文化共生推進プラン（改定版）（閲覧日：2022 年 10 月 1 日）<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/004/002/tabunkakyouseisuisinpuran/p023108.html>

2020（令和 2）年度日本人学生留学状況調査結果（閲覧日：2022 年 10 月 1 日）<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/nippon/data/2020.html>

令和 3 年度外国人市民アンケート調査報告書（閲覧日：2022 年 10 月 1 日）

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/004/002/tabunkakyoseisuihyougikai/p000096.html>

「コロナ禍の留学の実態」に関する調査（閲覧日：2022 年 10 月 1 日）

<https://www.zenken.co.jp/news/3278>